

つぎの ぶんしょうを よんで、もんだいに こたえましょう。

ぼくのいえの犬は、コロという名まえです。まい日、夕がた、ぼくがさんぽにつれていきます。

ある日、コロは、いつもの川のみちで、きゆうにとまりました。いくらひもをひっぱっても、うごきません。

「コロ、はやく。」

ぼくは、すしおこっっていました。コロは、草のほうへはなをむけて、くんくんないています。

そっとのぞいてみると、草の中に、小さな子ねこがいました。ぶるぶるふるえています。

ぼくは、子ねこをだいて、いえにかえりました。おかあさんが、あたたかいミルクをあげてくれました。

「コロが見つけたんだよ。」

ぼくがいうと、コロは、しっぽを大きくふりました。

(このもんだいのための かきおろし)

(一) 草の中に、なにがいましたか。ぶんしょうから十字までで、かきぬきましょう。

小	さ	な	子	ね	こ				
---	---	---	---	---	---	--	--	--	--

(二) 「コロ、はやく。」といったとき、ぼくは、どんなきもちでしたか。ア〜ウから一つえらびましょう。

ア とてもうれしかった。

イ ねむかった。

ウ すしおこっていた。

ウ

(三) 子ねこは、どんなようすでしたか。ぶんしょうから十五字までで、かきぬきましょう。

	ぶ	る	ぶ	る	ふ	る	え	て	い	ま	す				
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--

(四) コロが、なかなかうごかなかったのは、どうしてですか。二十字までで、かきましょう。

か	草	の	中	の	子	ね	こ	に	、	気	が	つ	い	た
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【小I】国語 文章問題 物語文 3 答えと解説

問一（二十五点） 答え：小さな子ねこ （子ねこ でも正解）

解説：五つ目のまとりから。

問二（二十五点） 答え：ウ

解説：すぐあとの「すこしおこっていいました」から。

問三（二十五点） 答え：ぶるぶるふるえています

解説：五つ目のまどまりの、さいごの文から。

問四（二十五点） 答えの例：草の中の子ねこに、気がついたから。

解説：コロは草のほうへはなをむけていた。さいごの「コロが見つけたんだよ」からもわかる。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

- ①草の中に子ねこがいた
- ②コロが気がついた（見つけた）